

2. 創造都市政策セミナー in 北九州市

北九州市はかつて行政、企業と市民が連携して公害を克服し、その経験と技術力を国から認められ、環境未来都市に選ばれている。また、OECD や国から SDGs のモデル都市に選定されるなど、これまでの取り組みが国内外で評価されてきた。

今回、北九州市で創造都市政策セミナーを開催し、東アジア文化都市北九州市の「SDGs」をテーマとした事業を紹介するとともに、創造都市推進の取り組みを通じた SDGs 実現について、基調講演及びパネルディスカッションにより意見交換を実施した。

日 時	令和3年3月29日(月) 14:00~16:30
会 場	オンライン (ZOOM)
主 催	北九州市
共 催	文化庁、創造都市ネットワーク日本
参加人数	30人
次 第	<p><第1部></p> <ul style="list-style-type: none">・開会、主催者挨拶・開催地挨拶/北九州市長 北橋健治(録画配信)・基調講演 テーマ: アートを生かしたまちづくりについて /ART for SDGs ディレクター、森美術館特別顧問 南條史生氏 (オンライン)・休憩 <p><第2部></p> <ul style="list-style-type: none">・パネルディスカッション・トークセッション テーマ: 創造都市の推進とSDGsの実現 南條史生氏(オンライン) (公財)地球環境戦略研究機関 研究員 大田純子氏 【進行役】北九州市立大学 特任教授 近藤倫明氏・質疑応答・総括・講評 /文化庁文化創造アナリスト・金沢星稜大学特任教授 佐々木雅幸氏・閉会

【概要】

はじめに北九州市長より開催地挨拶が行われた。

(挨拶要旨)

北九州市は OECD からアジア地域で初めて SDGs の推進に向けた世界のモデル都市に選定された。平成30年度にニューヨーク国連本部で SDGs の取り組み報告を行った際、SDGs の18番目のゴールとして文化を追加することを提案した。

このような流れから、東アジア文化都市のコア事業として、「アートで人を豊かに」するため、「北九州未来創造芸術祭 ART for SDGs」を開催することになった。

続いてART for SDGs ディレクターの南條氏が基調講演を行った。これまで南條氏が取り組んできたアートと都市の接点について、またART for SDGs の内容について説明した。

(基調講演要旨)

SDGs や都市づくりは制約が多い一方、創造活動は自由な発想が求められる。SDGs と創造性是对立する概念のように見えるが、実はSDGs の実行には創造力が必要である。効率や経済だけで物事を判断することができない時代においては、アートやクリエイティブが重要となっている。

基調講演後のパネルディスカッションでは、南條氏の他、(公財)地球環境戦略研究機関の大田氏、モデレーターとして北九州市立大学の近藤氏も参加し、意見交換を行った。

(パネルディスカッション要旨)

SDGs を可視化する手段として芸術祭が開催されるが、アートには分かりやすいものと分かりにくいものがある。特に後者はメッセージ性よりも思想や問いに近く、SDGs やコロナ禍をアートシンキングでどう捉えていくかを考えるきっかけとなる。

SDGs のゴールに至るまでのプロセスをアートを通じて学ぶことができる。例えばゴミを使ったアート作品では、ゴミから新しい価値(作品等)が生まれるかもしれない可能性を感じられる。

最後に佐々木顧問より総括を行った。

(総括要旨)

これからポストコロナ、ビヨンドコロナの社会を作るときに、これまでの成長戦略を繰り返すのではなく、地球という唯一無二の惑星とともにアートシンキングで継続的、持続的に生活すること、そのときに芸術や文化が持っているベーシックで深い力を考え直してはどうか。



創造都市政策セミナーの様子